

問1 鹿児島県の農業の特色について、農業産出額の構成や主な生産物の背景を踏まえて述べた文として、最も適当なものはどれですか。（2016年 福岡県公立入試 類似）

- | | | | |
|---|---|---|---|
| 1. 温暖な気候を利用した稲の二期作が古くから行われており、農業産出額における米の割合が最も高い。 | 2. 広大な平地と冷涼な気候を活かした大規模農業が盛んで、乳牛などの酪農やてんさい、じゃがいもの生産が中心である。 | 3. シラス台地などの地形的条件もあり、豚や肉用牛、ブロイラーといった畜産の産出額が全体の約6割を占めている。 | 4. 首都圏に近い立地を活かした近郊農業が発達しており、レタスやピーマンなどの野菜の生産額が畜産を大きく上回っている。 |
|---|---|---|---|

問2 鹿児島県の農業産出額は約4435億円と非常に高く、そのうちの約2837億円が畜産によって生み出されています。このように畜産の割合が極めて高い背景にある、この地域の自然環境の説明として最も適切なものはどれですか。（2019年 埼玉県公立入試 類似）

- | | | | |
|--|--|---|--|
| 1. 火山噴出物が積もったシラス台地が広がり、水持ちが悪く稲作に不向きであったため。 | 2. 季節風の影響を強く受けるため、寒冷な気候に強い作物の栽培が優先されたため。 | 3. 平野が少なく山がちであるため、急斜面を利用した果樹栽培が中心となったため | 4. 年間を通して温暖で降水量が多く、二期作などの米づくりに適していたため。 |
|--|--|---|--|

問3 北西太平洋に位置する熱帯低気圧のうち、最大風速が一定以上になったものを台風と呼びます。この台風が日本の九州・沖縄地方に及ぼす影響と人々の対応について述べた文として、正しいものはどれですか。（2016年 大分県公立入試 類似）

- | | | | |
|---|--|---|---|
| 1. 一年を通じて発生し、冬には大量の降雪をもたらすため、屋根の傾斜を急ににするなどの建築様式がとられている。 | 2. 突発的に発生する地殻変動が原因であり、大規模な津波を引き起こす可能性があるため、高い防潮堤が築かれている。 | 3. 活動を休止していた火山が急に噴火することで発生し、農作物に深刻な灰害をもたらすため、防灰ネットが活用されている。 | 4. 夏から秋にかけて接近することが多く、強風や大雨による自然災害をもたらすため、事前の備えが重視されている。 |
|---|--|---|---|

問4 那覇市などの地方中心都市において、夜間の常住人口よりも昼間の人口の方が多くなる現象が見られます。ある統計によると、那覇市の夜間人口は約31.9万人ですが、昼間人口は約35.0万人に達しており、昼夜間人口比率が100%を大きく上回っています。このような現象が起こる主な要因として最も適切な説明を選んでください。（2018年 沖縄県公立入試 類似）

- | | | | |
|--|------------------------------------|--|---|
| 1. 周辺の市町村から、仕事や学びのために多くの人々が通勤・通学してくるため | 2. 出生率が高く、年少人口の割合が他の市町村に比べて著しく高いため | 3. 県外や海外から訪れる多くの観光客が、日中に市内の観光スポットに滞在するため | 4. 中心部での地価高騰を避けるため、夜間だけ市外の宿泊施設を利用する人が多いため |
|--|------------------------------------|--|---|

問5 1960年代の北九州市は、重化学工業の発展に伴って深刻な環境問題に直面しました。この状況を克服し、現在は環境モデル都市として知られるようになるまでに行われた取り組みの説明として、最も適切なものはどれですか。（2017年 長野県公立入試 類似）

- | | | | |
|--|--|--|--|
| 1. 地震や津波などの自然災害に備え、沿岸部の工場地帯を解体して内陸部へ居住区を移した。 | 2. 市民、企業、行政が互いに協力し合い、汚染物質の排出規制や技術開発によって改善を進めた。 | 3. 全ての工場を市外へ移転させることで、工業都市から観光都市への全面的な転換を図った。 | 4. 二酸化炭素の排出を抑えるため、太陽光発電などの再生可能エネルギーのみを全産業の動力とした。 |
|--|--|--|--|

問6 那覇市の気候統計における気温と降水量の特徴について、札幌市、松本市、高松市、福岡市と比較した記述として正しいものを選択してください。（2024年 栃木県公立入試 類似）

- | | | | |
|---|--|---|--|
| 1. 南西諸島に位置するため、1月の平均気温が札幌市や福岡市を下回る月があり、冬の乾燥が非常に激しい。 | 2. 1月と7月の月平均気温の差が松本市よりも大きいことが、亜熱帯に近い那覇市の気候の大きな特徴である。 | 3. 日本の最南端に位置するため、年平均気温は福岡市よりも高いが、年間の総降水量は瀬戸内の高松市よりも少ない。 | 4. 梅雨や台風の影響により年間降水量は多い傾向にあるが、海洋の影響を受けるため、気温の年較差は内陸の松本市より小さい。 |
|---|--|---|--|

問7 九州地方において肉用牛の産出額が非常に高い背景には、南九州を中心に広がる地形的要因があります。火山噴出物が積み重なってできたこの台地は、水持ちが悪く稲作に不向きであったため、古くから畜産業や畑作が発展してきました。この台地の名称として適切なものはどれですか。（2021年 神奈川県公立入試 類似）

- | | | | |
|----------|----------|---------|----------|
| 1. 牧之原台地 | 2. 武蔵野台地 | 3. 根釧台地 | 4. シラス台地 |
|----------|----------|---------|----------|

問8 関東地方の卸売市場におけるきゅうりの出荷状況を見ると、福島県産などは夏場に供給のピークを迎えるのに対し、宮崎県産は11月から翌年5月にかけての供給量が多くなっています。宮崎県がこのような出荷時期の調整を行う主な理由として、最も適切な説明はどれですか。（2022年 宮城県公立入試 類似）

- | | | | |
|---------------------------------------|--|--|--|
| 1. 消費地である関東地方までの輸送コストを、冬場の方が安く抑えられるため | 2. 冬の乾燥した気候を利用することで、農薬の使用量を抑えた栽培が可能になるため | 3. 夏場に発生しやすい台風の被害を避けるために、栽培時期を冬に限定しているため | 4. 他の産地の出荷が少ない時期に販売することで、高い価格での取引を狙うため |
|---------------------------------------|--|--|--|

問9 鹿児島県における豚の飼育状況について、1970年代から2010年代にかけての変化を説明した文として、適切なものはどれですか。（2015年 兵庫県公立入試 類似）

- | | | | |
|---|---|------------------------------------|---|
| 1. 飼育戸数は横ばいだが、一戸あたりの飼育頭数が減ったため、生産効率が低下した。 | 2. 飼育戸数が減少する一方で、一戸あたりの飼育頭数が増加し、経営規模が拡大した。 | 3. 飼育戸数と飼育頭数がともに減少し、県全体の生産体制が縮小した。 | 4. 飼育戸数が急増したことにより、一戸あたりの飼育頭数が制限されるようになった。 |
|---|---|------------------------------------|---|

問10 長崎県の海面養殖業に関する2008年から2013年までの統計データにおいて、生産額は200億円台、生産量は2万トン前後で推移しています。この期間における長崎県の養殖業の特徴を説明した文として、適切なものはどれですか。（2017年 京都府公立入試 類似）

- | | | | |
|---|--|--|---|
| 1. ぶりやまだい、まぐろ、ふぐなど多種多様な魚種を安定して生産しており、全体として一定の生産規模を維持している。 | 2. 養殖技術の向上によって生産量が急増したため、供給過剰となり生産額は年々大幅に減少している。 | 3. ふぐの生産だけに特化した産業構造となっており、他の魚種の生産はほとんど行われていない。 | 4. 1トンあたりの単価が非常に安価な魚種ばかりを生産しているため、生産量は多いが生産額は10億円を下回っている。 |
|---|--|--|---|

問11 九州地方の各県について述べた統計資料において、地熱発電量が「879」と他の県に比べて突出して高く、人口密度が約181.7人/km²である県に該当するものとして、最も適切なものを選択してください。（2020年 和歌山県公立入試 類似）

- | | | | |
|--------|--------|--------|---------|
| 1. 大分県 | 2. 福岡県 | 3. 宮崎県 | 4. 鹿児島県 |
|--------|--------|--------|---------|

問12 九州地方の北部に位置し、九州地方において最も人口が多い県の県庁所在地である都市として正しいものを、次のうちから選びなさい。（2024年 秋田県公立入試 類似）

- | | | | |
|--------|--------|---------|---------|
| 1. 福岡市 | 2. 熊本市 | 3. 北九州市 | 4. 鹿児島市 |
|--------|--------|---------|---------|

答え合わせ・解説

問1	答え 3 シラス台地などの地形的条件もあり、豚や肉用牛、ブロイラーといった畜産の産出額が全体の約6割を占めている。	鹿児島県は全国屈指の農業県ですが、その最大の特徴は畜産の圧倒的な比率にあります。約4109億円にのぼる産出額のうち60.9%を畜産が占めており、これはシラス台地という地理的条件を克服するために畜産や畑作に力を入れてきた歴史的背景に基づいています。他の選択肢にある酪農中心の形態は北海道、近郊農業は茨城県や千葉県、稲の二期作はかつての高知県などの特徴です。
問2	答え 1 火山噴出物が積もったシラス台地が広がり、水持ちが悪く稲作に向きであったため。	鹿児島県（特に大隅半島や薩摩半島）には、桜島などの火山活動による堆積物でできたシラス台地が広がっています。シラス台地は水が染み込みやすく、大規模な水田を作るのが難しかったことから、古くからサツマイモや茶などの畑作、そして広大な土地を活かした肉用牛や豚の飼育といった畜産業が盛んになりました。この歴史的な土地利用の背景が、現代の高い畜産産出額につながっています。
問3	答え 4 夏から秋にかけて接近することが多く、強風や大雨による自然災害をもたらすため、事前の備えが重視されている。	台風は、低緯度の海上で発生した熱帯低気圧が発達したもので、日本付近には主に夏から秋にかけて接近します。九州・沖縄地方はその経路になりやすく、猛烈な風や激しい雨による被害が繰り返し発生してきました。そのため、ハザードマップの確認や避難体制の整備、住居の補強といった防災・減災への取り組みが地域社会の重要な課題となっています。津波は地震、降雪は冬の季節風、灰害は火山活動に関連するものであり、台風の定義や性質とは異なります。
問4	答え 1 周辺の市町村から、仕事や学びのために多くの人々が通勤・通学してくるため	県庁所在地などの中心都市には、官庁や企業、学校などが集中しています。そのため、夜間は周辺の住宅都市（ベッドタウン）で生活している人々が、日中になると「通勤」や「通学」のために中心都市へ移動します。この人々の「流入」により、中心都市では昼間人口が夜間人口を上回ります。一方、隣接する豊見城市のように、昼夜間人口比率が100%を下回る自治体は、住民が市外へ働きに出る「流出」側であることを示しています。観光客の移動は一時的なものであり、国勢調査に基づく昼間人口の定義（常住人口に出入管理される通勤・通学者を加減したもの）とは異なります。
問5	答え 2 市民、企業、行政が互いに協力し合い、汚染物質の排出規制や技術開発によって改善を進めた。	かつて北九州市は「七色の煙」と呼ばれるほどの大気汚染や、洞海湾の深刻な水質汚濁に悩まされていました。この状況に対し、まずは子どもの健康を心配した市民（母親たち）が立ち上がり、企業や行政に働きかけました。その結果、三者が一体となって対策を講じる体制が整い、厳しい排出基準の策定や企業の技術革新が進んだことで、環境問題の克服に成功しました。この経験は現在、国際的な環境協力にも活かされています。
問6	答え 4 梅雨や台風の影響により年間降水量は多い傾向にあるが、海洋の影響を受けるため、気温の年較差は内陸の松本市より小さい。	那覇市は黒潮（暖流）の影響を受けるため、冬でも温暖で、1年を通じた気温の変化が緩やかです。そのため、内陸部特有の気候を持ち気温差が激しい松本市と比較すると、1月と7月の気温差は小さくなります。降水量については、台風の進路にあたることや梅雨の影響で、全国的に見ても多い部類に入ります。福岡市よりも平均気温が低い、あるいは高松市よりも年降水量が少ないといった記述は、実際の統計上の傾向とは異なります。
問7	答え 4 シラス台地	鹿児島県から宮崎県にかけて広がるシラス台地は、火山の噴出物（火山灰など）で構成されています。水はけが良すぎて水田に適さなかったため、肉用牛や豚、鶏などの畜産や、サツマイモなどの畑作が盛んになりました。ちなみに根釧台地は北海道の酪農地帯、牧之原台地は静岡県の子育ての茶の産地です。
問8	答え 4 他の産地の出荷が少ない時期に販売することで、高い価格での取引を狙うため	農産物は市場に出回る量（供給量）が少ない時期ほど、価格が高くなる傾向があります。宮崎県では、冬でも暖かい気候や施設園芸の技術を活用し、多くの地域が栽培できない冬から春にきゅうりを出荷することで、競争を避け、農家の収益を高める工夫をしています。これを促成栽培と呼び、地理的な利点と市場経済の仕組みを組み合わせた農業経営の一環です。
問9	答え 2 飼育戸数が減少する一方で、一戸あたりの飼育頭数が増加し、経営規模が拡大した。	鹿児島県の統計資料によると、飼育戸数を示す指標は年々減少の傾向にありますが、飼育頭数を示す指標は高い水準を維持し続けています。このことから、一戸あたりの飼育頭数が以前よりも大幅に増えていることがわかります。これは農家の高齢化や後継者不足により戸数が減る一方で、残った農家が設備投資などを行い、より多くの家畜を育てる大規模化が進んだことを示しています。
問10	答え 1 ぶりやまだい、まぐろ、ふぐなど多種多様な魚種を安定して生産しており、全体として一定の生産規模を維持している。	長崎県の海面養殖は、対馬海流の影響を受ける良好な漁場環境を背景に、単一の魚種に依存せず、ぶり、まだい、まぐろ、ふぐといった複数の主要魚種をバランスよく生産しているのが特徴です。統計上も生産額・生産量ともに極端な増減は見られず、安定した水産業を展開していることが読み取れます。
問11	答え 1 大分県	大分県は別府温泉や由布院温泉に代表されるように火山活動が活発な地域であり、その熱エネルギーを利用した地熱発電の発電量が国内で最も多いことが特徴です。統計資料に示された高い地熱発電量は、この地理的特性を反映しています。
問12	答え 1 福岡市	九州地方の北部に位置する福岡市は、福岡県の県庁所在地です。福岡県は九州地方で最大の人口を抱える県であり、その中心都市である福岡市は、商業やサービス業が高度に集積した地方中枢都市として発展しています。